

平成23年南房総市教育委員会第10回定例会会議録

- 1 日 時 平成23年10月20日(木) 午後3時開会～午後4時10分閉会
- 2 場 所 南房総市役所丸山分庁舎 2階第2会議室
- 3 出席委員 委員長 生 稲 謹 爾 委 員 小 林 安 生
委 員 小 幡 啓 子 委 員 大 胡 晴 美
教育長 三 幣 貞 夫
- 4 出席職員 教育次長 関 良 成 参事 藤 本 雅 俊
教育総務課長 高 木 忠 一 学校再編推進課長 長 居 俊 孝
生涯学習課長 安 田 政 光
書記 教育総務課課長補佐兼係長 庄 司 武 史
同 教育総務課副主査 伊 藤 健 一
- 5 開 会 生稲委員長が開会を宣言
- 6 会議録署名人の指名 生稲委員長が小林委員を指名
- 7 会議録承認 平成23年第9回定例会会議録について承認
- 8 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 教育長報告
三幣教育長から、南房総市教育委員会の取り組み内容が掲載された教育関係誌等の紹介、学校給食食材の産地の公表について報告・説明があった。
 - ② 各課報告
ア 高木教育総務課長から入札「南房総市白浜体育館改修工事、南房総市立和田中学校屋外トイレ新築工事、南房総市立和田中学校校庭整備工事」について報告・説明があった。
イ 長居学校再編推進課長から「富山地区小中一貫教育説明会」、「岩井幼小PTA主催意見交換会」、「第19回富山地区学校再編検討委員会」について報告・説明があ

った。

ウ 安田生涯学習課長から「第40回ロードレース千倉」、「第5回南房総市鋸南町PTAバレーボール大会」、「図書館と地区公民館を結ぶ本のネットワーク稼働」、「南房総市文化協会白浜支部文化祭」について報告・説明があった。

(2) 議決事項

① 議案第55号 南房総市教育功労者及び教育功労団体表彰について

高木教育総務課長から資料に基づき説明があった。

小林委員 区域外の生徒が候補者となっていますが、他にも区域外から通っている生徒はいますか。

藤本参事 一部の地区で、地理的な要件から区域外就学となっている生徒がいます。

質疑後、全会一致で承認された。

② 議案第56号 和田地区学校再編検討委員会委員の委嘱について

長居学校再編推進課長から資料に基づき説明があった。

生稻委員長 和田地区の新しい小学校の発足は、いつ頃ですか。

三幣教育長 津波などの災害がもたらす影響を考えたうえで検討し、概ね平成25年度までに同意をいただきたいと考えています。その後に環境整備等をしたうえで、平成27年度の発足を目指しています。

生稻委員長 富山地区の統合はいつですか。

三幣教育長 平成24年4月に新しい小学校が発足する予定で進めています。

小林委員 学校再編計画の第2次では、小学校数を和田地区では2校を1校に、丸山地区では2校を1校に、千倉地区では4校を2校とする計画を示していますが、変更を考えていますか。

長居学校再編推進課長 今までは、小学校の学校再編検討委員に中学校PTAは、入っていませんでしたが、今後は、学校再編計画第3次の中学校の統合も含め、将来像実現のために進めていきたいと考えています。

小林委員 当初、学校再編計画は、第3次で決定していますが、変更するのであればそれなりの手続きが必要ではないですか。

関教育次長 計画そのものを全く変更するのではなく、計画実現のために再編計画の第3次を含め、前倒しで進めていく考えです。

小林委員 実務としては、現状に合わせて変更するのは、良いと思います。手続き上の問題として、決定している計画が変わるのであれば、もっと弾力的な再編計画を

新たに策定してもよいと思います。

三幣教育長 学校再編計画の第1次、2次を進めるなかでも、少子化や校舎の老朽化に伴う学校建設など学校を取り巻く環境は計画策定前に比べ変化しています。現状にあった方向を示せる計画とするため、もう一度、整理してみます。

生稲委員長 学校再編は、地域の理解の上で進めるもので、情報発信をしっかりとすれば実情にあった方向で進めることが最善と思います。

三幣教育長 今後の方向については、もう一度整理し、報告したいと考えています。

小林委員 文書の一部修正など、一部を付け加えることで、今後進めようとする方向が読み取れば良いと思います。実務としては、賛成です。

生稲委員長 富山の小中一貫校の開始は、いつごろを予定していますか。

三幣教育長 平成27年4月の開始を考えています。

内房地区の中学校再編については、市域を越えて検討していくことも可能性として考えられます。

生稲委員長 今後、時代の流れが速く来て行政の枠組みが無くなるか、また、生活圏や地理的な要件を踏まえ実情に応じ学校の再編を考えていくのか、いずれにしても状況に応じ整理し、理解を求めていくことが必要であります。

質疑後、全会一致で承認された。

③ 議案第57号 富山小学校「校章デザイン」募集要項の制定について

長居学校再編推進課長から資料に基づき説明があった。

生稲委員長 校歌の作成はどのように考えていますか。

長居学校再編推進課長 現在、専門部会において、校歌の作成を進めています。

小林委員 将来小中一貫校として使用可能な校章のデザインとは、どのようなものを想定していますか。

長居学校再編推進課長 小中の漢字をデザインに入れるのではなく、例えば、富山のみにするなど、小中一貫校でも使用可能なデザインを想定しています。

小林委員 富山小学校として岩井と平群が一緒になり、その後、小中一貫校となりますが、校歌も校章の作成も今回の小学校統合のイメージが強く、一貫校となった時に中学校側として納得できる物が期待できますか。

長居学校再編推進課長 再編検討委員会には、中学の校長が入っています。また、専門部会には中学生の保護者も含め進めております。そのなかで、小中一貫校となった場合も使用できるものが作成されるものと考えております。

小林委員 一貫校が出来た時には、新たに作る必要があると思いますが。

三幣教育長 小中学校の保護者を含めた専門部会の中で、新しい富山小中学校が誕生することから、それにともない小学校中学校で一貫して使えるものを作りたいと願う保護者の思いから作成するものであります。

小幡委員 一貫校で使うものを前倒しで作成し、統合した小学校で先に使う考えで整理してはどうですか。

小林委員 事前に十分に説明をして地域住民が理解をしたうえで進めていただきたいと思います。

質疑後、全会一致で承認された。

9 その他

三幣教育長 平成20年度から平成22年度まで三芳地区で行われた「保・幼・小・中施設分離型一貫教育」の研究について経過報告があった。

生稲委員長 学校の再編については、10年、15年先を見据えて進める必要があると考えられます。

小林委員 小学校と中学校では、施設の基準が違います。簡単に中学校の校舎に小学生を通わせる訳にはいかない。慎重を期して考えていかなければいけません。

10 閉 会 生稲委員長が閉会を宣言

次回の第11回定例会を11月18日（金）午後3時に開催することで決定した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

平成23年11月18日

南房総市教育委員会 委員長 生 稲 謹 爾

南房総市教育委員会 署名人 小 林 安 生

南房総市教育委員会 書記 伊 藤 健 一